

教えて！ 富山 けいざい



RaaS (ラース) って？

◆手頃な価格で利用／コロナ禍認知度高まる

Q－ロボット業界で注目されているらしいけど、ラースって何を言うの。

A－事業者がロボットをクラウド上で管理しながら顧客に貸し出し、利用に応じた料金をもらうサービスです。従来のレンタル方式では、利用頻度が少ない場合でも契約期間ごとの定額料金を払う必要がありましたが、ラースの場合は、利用時間に応じた1時間単位の課金方式が多く、アルバイトの時給より安く利用できる場合があります。



Q－「カーシェアリング」と似ているわ。利点はなあに。

A－経営体力の弱い中小企業にとってロボットの導入はコスト面などから、たやすくありません。しかし、ラースなら（1）初期の投資負担がなく、利用に応じた料金で済む（2）ロボットの不具合は、クラウドソフトを使った遠隔制御によりリモートで即応できる（3）把握できなかった稼働状況が、パソコン上で「見える化」される－などのメリットがあります。クラウドによって制御ソフトの入れ替えや機能のアップデートもできます。

Q－どんな分野で利用されているの。

A－新型コロナウイルスの感染リスクを低減しながら業務できるという利点が認知され、外食（食品の仕分け）、小売り（商品の陳列）、物流（倉庫での作業）のほか、人手不足が深刻な農業分野でも利用されています。

「自動野菜収穫ロボット」は、収穫に適した時期の作物を画像認識で判別し、はさみが付いたロボットアームを使って自動で刈り入れます。利用料金は、クラウド上にアップロードされた収穫量に応じて変動します。

Q－いろんなことに活用できるんだね。

A－現在のロボットはAI（人工知能）の進化で、より精密な作業も任せられるようになっていきます。ラースが普及すれば、「どこにでもロボットがいる社会」が実現すると考えられます。

（北陸経済研究所の熊野和夫が解説しました。随時掲載します）